

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成27年7月分)

平成27年8月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢
 - (1) 国家レベル
 - (2) エンティティ、特別区
- ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH 連邦)
- イ スルプスカ共和国(RS)
2. 外政
 - (1) 多国間、国際機関
 - (2) 要人往来、国際会議等
3. 経済
 - (1) 経済指標
 - (2) 経済政策、公的事業
 - (3) 民間企業

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●スレブレニツァ虐殺20周年追悼式典、同式典におけるブチッチ・セルビア首相の襲撃(11日)

今般のスレブレニツァのジェノサイド被害者追悼式典には、80カ国以上から外交団が訪れ、参加者は7万人以上となった。各国からは、クリントン元米大統領、アン英王女、キタロビッチ・クロアチア大統領、パホル・スロベニア大統領、ダーヴトオール・トルコ首相、ブチッチ・セルビア首相を含む代表団が式典に出席した(日本からは藺浦外務大臣政務官が出席)。今般の式典では、遺族らが見守る中、136名の遺体がポトチャリ記念公園に埋葬された。

式典中、ブチッチ・セルビア首相が一部参加

者から石やペットボトルを投げられ、罵声を浴びせられる事件が発生。ブチッチ首相は軽傷を負い、式典から退避した。

●輪番制により、チョービッチBH大統領評議会議長が就任(17日)

イバニッチ評議会メンバー(セルビア系)に代わり、チョービッチ評議会メンバー(クロアチア系)が議長となった。(BH大統領評議会の3名は、輪番制により8ヵ月ごとに議長を務める。)

●BH大統領評議会がBHのEU加盟に向けた「マスタープラン」を採択(23日)

BH大統領評議会は、23日の会合でBHのEU加盟のための「マスタープラン」を採択。17年末までにEU加盟候補国の地位を獲得す

るための時間的枠組を設定した。同プランには、EU加盟のための(BH国内の)調整メカニズム設置、改革アジェンダ、欧州人権裁判所による「セイディッチ・フィンチ事件」判決の履行への取組が含まれる。

●BH閣僚評議会がブチッチ・セルビア首相襲撃事件について、BH治安省の報告書を採択(30日)

BH閣僚評議会は、30日に会合を行い、11日のスレブレニツァ虐殺20周年追悼式典におけるブチッチ・セルビア首相襲撃事件に関するBH治安省の報告書を採択した。会合では、各警察機関の調整能力の不備が指摘された。

(2)エンティティ、特別区

ア ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●トウズラ・カントン(県)政府の再編(9日)

トウズラ・カントン議会は、グティッチ同カントン首相の辞任を受理し、カントン政府の解散を承認。その後、改めてグティッチ首相を再任し、民主同盟(DF)所属閣僚を他政党閣僚と入れ替えたうえで、新カントン政権を発足させた。

●BH連邦上院の24議員がBH連邦政府への不信任案を提出(15日)

BH連邦上院第二回通常会合において、社会民主党(SDP)、「より良い未来のための連合」(SBB)及び民主同盟(DF)に所属する24議員が、BH連邦政府の不信任案を提出した。不信任案の理由として、現政権がBH連邦議会の多数派を反映していないこと、BH連邦政府が現在の政治危機及び経済危機を緩和するために行動していないことが挙げられた。不信任案発議から30日以内に、BH連邦政

府はその立場を表明することが出来る。

●BH連邦政府が新たなBH連邦労働法案を採択(23日)

BH連邦政府は、通常会合において全会一致でBH連邦労働法案を採択、BH連邦議会に付託した。

●BH上院の新労働法採択、BH議会前では労働組合員らによる抗議活動(30日)

30日、BH連邦上院特別会合で新BH連邦労働法案が審議されたが、BH連邦議会前では、同法案が労働者の権利を損なうとして、BH連邦内の労働組合員を中心に、約5,500人(BH当局推計)が抗議活動を行った。

BH連邦上院では、民主同盟(DF)、「より良い未来のための連合」(SBB)、社会民主党(SDP)及び「我々の党」所属議員が、採択手続が不相当として議会を退出、残る議員で投票を行った結果、賛成28(民主行動党(SDA)、クロアチア民主同盟BiH、「繁栄のために働く人民の党」(NSRB)、クロアチア民主同盟1990(HDZ1990)、自由党、ディアスポラ党、民主活動党(A-SDA))、反対3(独立社会民主主義者連合(SNSD))により、法案は採択された。

当地米大使館やEU代表部は、BHの労働市場の近代化に資するとして、共に右法案の採択を歓迎した。

●BH連邦下院で新BH連邦労働法を採択(31日)

BH連邦下院では、新BH連邦労働法案は、民主行動党(SDA)、「BiHのための党」(SBiH)、ボスニア愛国党(BPS)、民主活動党(A-SDA)、クロアチア民主同盟BiH(HDZ・Bi

H)及び「我々の党」による賛成多数(50票)で採択された。同法案は、後にBH連邦官報に掲載されて発効する。

会合中、複数の政党から、同法案の改正案が提出された。BH連邦下院会合の休憩中にBH連邦政府は特別会合を行い、「BiHのための党」(SBiH)及び「我々の党」の改正提案を、法案採択後に、法律採択後に労働組合と結ぶ労働協約(collective agreement)に組み込むことを決定した。

●BH連邦の新連立発足(31日)

民主行動党(SDA)、「BiHのための党」(SBiH)、ボスニア愛国党(BPS)及び民主活動党(A-SDA)は、政治的協力に関する協定に署名し、BH連邦及び複数のカントン(県)政府において連立を形成することに合意した。BH連邦下院では、これら4政党と、現BH連邦与党であるクロアチア民主同盟BiH(HDZ・BiH)の議席を合わせ、98議席中50議席の最小過半数が確保される。

イ スルプスカ共和国(RS)

●RS国民議会が国家レベル司法機関(BH裁判所及びBH検察庁)及び上級代表決定の権限の信任を問う住民投票の実施を決議(15日)

14日、RS国民議会は、ドディックRS大統領による発議のもと、「国際社会の上級代表により課された違憲的かつ権限のない法律、特にBH裁判所及び同検察庁に関連する法律及びRS領内におけるその適用」についての住民投票に関する特別会合を開催。

翌15日の会合で、RS国民議会は、上記の住民投票実施に関する決議を採択した(賛成45、棄権31、反対なし)。ボシュニャク及びク

ロアチア系で構成する「祖国」連合は、投票中に退席した。

右決議は、RS官報に掲載後8日で発効、発効後50日が経過してから最初の日曜日に住民投票を実施することが定められている。

なお、14日には、国際社会により構成される和平履行評議会(PIC)運営委員会(EU、米、日、トルコ、カナダ、英、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン。ロシアは参加せず)は、RSで上級代表やBH司法機関の権限を問う住民投票を行うことは Dayton 和平合意に反するとの声明を発出した。

●ドディックRS大統領がブチッチ・セルビア首相と会談(17日)

ブチッチ・セルビア首相とドディックRS大統領がベオグラードにおいて会談を行い、その後の記者発表において、ブチッチ・セルビア首相は、ドディックRS大統領に対して、住民投票の試みの再検討を求めたことを認めた。

ドディックRS大統領は、裁判所の中立性確保、戦争犯罪に関与した全ての者の訴追、刑法の改正、BH裁判所の管轄権をBHレベルのみに限定すること、といった条件が満たされれば、必ずしも住民投票実施は必要ないとの見解を表明した。

●RS民族評議会のボシュニャク議員団が、住民投票の実施に関する決議案に対して「民族の死活的利益」に基づく拒否権を申立て(23日)

RS民族評議会のボシュニャク議員団は、RS国民議会による住民投票に関する決議案について、「民族の死活的利益(VNI)」に基づく拒否権の申立てを行った。RS民族評議会のクロアチア系議員団は、クロアチア民主同盟B

iH(HDZ・BiH)の同意がなく、右申立てを行
わなかった。

●RS住民投票実施に対するボシュニャク議
員団のVNIに基づく申立てに関する意見調整
失敗(29、30日)

RS民族評議会ボシュニャク議員団が、RS
の住民投票実施の決議に対するVNIに基づく
拒否権行使の申立てを行ったことにより、RS
民族評議会会合(29日)とRS国民議会及び
RS民族評議会の共同委員会会合(30日)が
実施されたが、共に意見の調整に失敗した。
VNIに関する手続上、議会における意見調整
が失敗した場合、本件はRS憲法裁判所VNI
パネルに付託される。本件付託後7日以内に、
RS憲法裁判所VNIパネルは、本件に対する
管轄権の有無を判断する。

2. 外政

(1) 多国間、国際機関

●国連本部でスレブレニツァ虐殺20周年追
悼式典開催(1日)

式典には、潘国連事務総長らが出席。潘事
務総長は、国連がスレブレニツァのジェノサイ
ドを防げなかったことについて、国連事務局、
安保理、加盟国の全てが責を負うと発言し、
犠牲者遺族への哀悼の意を述べた。

●国連安保理において、英国提案のスレブレ
ニツァに関する決議案が否決される(8日)

国連安保理において、英国が提案していた
スレブレニツァに関する決議案が、ロシアの反
対(拒否権)により否決された(賛成10、反対
1、棄権4)。ロシアは、決議案には偏りがあり、

地域の安定に寄与しない主張した。投票後、
決議案の提案国である英国や、他の賛成国
から、ロシアによる拒否権行使を非難する声
明が発出された。

●欧州議会がスレブレニツァのジェノサイドを
非難する決議を採択(9日)

欧州議会議員らは、決議の中でスレブレニ
ツァでのジェノサイドについて「この様な恐ろし
い犯罪は二度と起こってはならない」と述べる
と共に、「ジェノサイドの如何なる否定、矮小化、
又は誤った解釈」を拒絶した。また、国連安保
理においてスレブレニツァに関する決議案が
否決されたことに対する遺憾の意も決議中に
記された。

●EU加盟に向けた「改革アジェンダ」の採択
に対するBH国外の反応(28-29日)

28日、モゲリーニEU外務・安全保障政策
担当上級代表及びハーン欧州近隣政策・拡
大交渉担当欧州委員は、BHによる改革アジ
ェンダの採択は、EU加盟に向けて極めて重
要な一歩である事、遅滞のない右アジェンダ
の履行、特に労働関連法を採択することが重
要な最初の一歩となる事、同アジェンダの履
行が、BHの加盟申請が信頼に足ると認めら
れるために必要である事を述べる声明を発出
した。

シュタインマイヤー独外相及びハモンド英
外相も、それぞれ、BHにおける改革アジェ
ンダの採択を歓迎する旨の声明を発出した。

(2) 要人往来、国際会議等

●ツルナダクBH外相のモンテネグロ訪問(3
日)

ツルナダクBH外相は、ポドゴリツァを訪問

し、ブヤノビッチ・モンテネグロ大統領、クリボカピッチ・モンテネグロ議会議長、ルクシッチ・モンテネグロ副首相兼外務・欧州統合相と会談した。両者は、BH及びモンテネグロ間の良好かつ友好的な二国間関係を評し、(国境画定問題による)一時的な断絶を経ても、更に強固な友好関係を将来的に築くことへの期待が表明された。会談中、特に建築、観光、食糧及び材木産業の分野で、更なる二国間関係向上が期待出来る旨が話された。

●イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーの英国ウェストminster寺院におけるスレブレニツァ虐殺犠牲者追悼式出席とキャメロン英首相との会談(6日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーは、英国ウェストminster寺院で行われたスレブレニツァのジェノサイド犠牲者追悼式に参加し、その後、キャメロン英首相と会談した。キャメロン首相からは、BHのEU加盟への支持が表明された。

●メルケル独首相のBH訪問、BH大統領評議会、ズビズディッチBH閣僚評議会議長と会談(9日)

BHを訪問したメルケル独首相は、BH大統領評議会及びズビズディッチBH閣僚評議会議長と会談した。協議において、メルケル首相は、BHのEU加盟への支持を表明すると共に、加盟候補国の地位獲得に向けて、改革アジェンダの採択が必要であることを強調した。また、大統領評議会3名による独訪問を呼びかけた。

●ツルナダクBH外相のクロアチア・フォーラム2015への出席(9-11日)

ツルナダクBH外相は、自身の演説において、地域の発展のために治安政策と国家間関係が重要であることを強調した。BH情勢に関しては、改革計画の採択と調整メカニズムに関する合意が、EU加盟に向けた次のステップであると述べた。

●ダーヴトオール・トルコ首相とBH大統領評議会との会談(10日)

両者は、両国間の友好的かつ良好な関係、特に両国間のハイレベルな要人往来の実現について喜びを表明した。二国間貿易や、トルコからBHへの投資を拡大する等の経済協力の更なる発展が望まれた。ダーヴトオール首相は、域内の平和と発展にも寄与するとして、BHへの支援への準備があると述べた。

●クリントン元米大統領とBH大統領評議会との会談(11日)

BH大統領評議会からは、米国による継続的な友好的かつ積極的な支援への謝意が告げられた。クリントン元大統領からは、BHのEU及びNATO加盟への支持が強調され、政治的及び経済的な支援への準備と共に、米・BH間の友好関係が確認された。

●ヌーランド米国務次官補(欧州担当)とツルナダクBH外相の会談(11日)

ヌーランド米国務次官補は、BHが可能な限り早急に改革をすすめると同時に、真剣に腐敗撲滅に取り組むことを促した。また、BHのEU及びNATO加盟への支援を約束した。

●ジェンティローニ・イタリア外相のBH訪問、BH大統領評議会、ツルナダクBH外相との会談(12日)

BH大統領評議会(イバニッチ大統領評議会議長及びイゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー)とジェンティローニ外相は、両国間関係の更なる向上への期待共に、テロ撲滅や移民等のイシューにおける協力への期待を表明した。また、エネルギー、インフラ、鉱業における協力強化について協議した。

●コジラス・ギリシャ外相のBH訪問、イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバー、ツルナダクBH外相と会談(16日)

イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバーとコジラス外相は、良好な二国間関係と、経済協力において更に発展の余地がある点について意見を共有した。また、パヴロプロス・ギリシャ大統領のBH訪問実現への期待が表明された。

●チョービッチBH大統領評議会メンバーのブラッセル訪問(15-16日)

16日、チョービッチBH大統領評議会メンバーはモグリーニ欧州外務・安全保障政策担当上級代表と会談。モグリーニ上級代表は、今後の進展は具体的な取組みにかかっていると強調した。

●シュルツ欧州議会議長のBH訪問、イゼトベゴビッチBH大統領評議会メンバー、ツルナダクBH外相と会談(16日)

イゼトベゴビッチ大統領評議会メンバーは、欧州議会におけるスレブレニツァのジェノサイドに関する決議の採択に謝意を表明した。シュルツ欧州議会議長は、改革アジェンダの履行への支持を表明し、域内の競争力、連結性強化、エネルギー分野の向上、中小企業の強化及び司法改革へのEUからの支援を表明し

た。また、シュルツ欧州議会議長はツルナダクBH外相に対して、BHのEU加盟への欧州議会による支持を表明した。

●BH大統領評議会のセルビア訪問、ブチッチ・セルビア首相との会談(22日)

BH大統領評議会3名は、セルビアを公式訪問し、ブチッチ・セルビア首相と会談を行った。会談では、特に両国間の経済協力、道路及び鉄道のインフラ建設、国防産業、エネルギー、観光及び他国市場への共同参入等が協議された。15年9月にBH閣僚評議会とセルビア政府の共同会合を開催することと、10月にニコリッチ・セルビア大統領がBHを訪問することが合意された。

また、ブチッチ・セルビア首相は、11日のスレブレニツァ虐殺20周年追悼式典において襲撃された事件について「事件のことは忘れた。将来的な(BHセルビア間)関係を友好的に目指す準備がある」とコメントした。

●ツルナダクBH外相が国連安保理テロ対策委員会外国人テロ戦闘員の流出入阻止に関する特別会合(於マドリッド)に出席(28日)

ツルナダクBH外相は、BHについて、外国人戦闘員流出の問題が国内に存在しているが、BHは外国人戦闘員に刑罰を科す法律を制定済みであり、テロ活動への資金提供を防止する法制度を強化した旨発言した。

●ツルナダクBH外相のアルバニア訪問、ブシヤティ・アルバニア外相との会談(30日)

ツルナダクBH外相とブシヤティ・アルバニア外相は、二国間関係が良好であることを確認し、経済協力及び貿易分野に更に力を注ぐことの必要性が言及された。

3. 経済

(1) 経済指標

● GDP

BH統計局の発表によると、BHの実質GDPは、15年第一四半期で2.1%の成長。GDP総額は、14年第一四半期が61億KMだったところ、15年第一四半期は現行価格で62億5000万KM(約32億ユーロ)となった。今期の経済成長は、特に卸売及び小売業、公的行政及び建設業の成長が牽引した。

● 産業生産高

BH統計局の発表によると、15年6月の産業生産高は、15年5月と比較して、1.8%の減少。14年6月との比較では3.5%の上昇。

● 雇用／失業者数

BH統計局の発表によると、15年5月のBH全体の雇用者数は712,353人、失業者数は537,505人で失業率は43%となった。

● 消費者物価指数

BH統計局の発表によると、15年6月は、15年5月と比較して、消費者物価指数は平均0.3%下落。

● 貿易額

BH統計局の発表によると、15年上半期のBHにおける輸出額は43億8100万KM(約22億4000ユーロ、14年上半期と比較して4.4%増)、輸入額は76億3900万KM(約39億ユーロ、14年上半期と比較して0.1%増)。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額):①ドイツ(6億9000万KM/約3億5000万ユーロ)、②

イタリア(6億700万KM、約3億4000万ユーロ)、③クロアチア(4億5200万KM、約2億3000万ユーロ)、④セルビア(3億9790万KM、約2億ユーロ)、⑤オーストリア(3億6670万KM、約1億9000万ユーロ)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額):①ドイツ(9億2290万KM、約4億7000万ユーロ)、②イタリア(8億6570万KM、約4億4000万ユーロ)、③セルビア(8億400万KM、約4億1000万ユーロ)、④クロアチア(7億8220万KM、約4億ユーロ)、⑤中国(5億4570万KM、約2億8000万ユーロ)

● 観光客数

BH統計局の発表によると、15年5月、BHには119,266人の観光客が訪れ、15年4月と比較して44.2%増加。14年5月と比較して40.3%増加した。

● 投資額

外国投資促進庁(FIPA)は、15年第一四半期の外国投資額を1億2320万KM(約6300万ユーロ)と発表。「従来の傾向では、他の三期と比較して、第一四半期は外国投資の成長は穏やかになる」と補足した。

(2) 経済政策、公的事業

● ノバリッチ BH 連邦首相が「BH Telekom」社の少数株式売却を発表(19日)

ノバリッチ BH 連邦首相は、「BH Telekom」社の民営化に際して、BH 連邦政府が51%の株式を保持しつつ、残る少数株式を売却する考えを認めた。

●BH閣僚評議会、BH連邦政府及びRS政府が「15－18年改革アジェンダ」を採択(23日、27日)

23日、BH閣僚評議会は、「15－18年改革アジェンダ」を承認。同アジェンダは、「公共財政、課税及び財政的安定」「ビジネス環境及び競争性」「労働市場」「社会保障及び年金改革」「法の支配及び良い統治」「公共行政改革」に関する改革項目から構成され、持続可能、効率的かつ安定的な経済成長と、より適正な社会環境の創出を目的としている。同アジェンダの起草には、EU、世界銀行、IMF等国際機関が協力した。この「15－18年改革アジェンダ」は、RS政府(23日)及びBH連邦政府(27日)も採択した。

●BH、セルビア及びモンテネグロが共同で送電線を設置する事業を計画(26日)

アンティッチ・セルビア鉱業・エネルギー相とモンテネグロ経済相とカバリッチ・モンテネグロ経済相は、BH、セルビア及びモンテネグロとイタリアをアドリア海を越えてつなぐ海底送電線の設置を17年に開始すると発表した。本件は、8月にウィーンで開催される西バルカン諸国首相会合で最重要プロジェクトの一つとして紹介され、財源確保が目指される。

●国家及び両エンティティの3首相による協議(29日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長(首相)、ノバリッチBH連邦首相及びツビヤノビッチRS首相がバニャ・ルカで会合し、改革アジェンダの履行に向けた枠組行動計画に合意。各種の法制案について8月中に合意し、9月上旬の政府会合で採択することが目指された。

また、IMFへの新たな趣意書(letter of

intent)についても、8月中に各政権の間で協議を進める意向が示された。

(3)民間企業

●14年BH企業トップ100の発表(1日)

毎年BH 対外貿易会議所が発表するBH 企業の業績ランキングにおいて、「大企業」部門上位3企業は、以下の結果となった。

・<収入>1位:「Optima Group d.o.o. Banja Luka」社(10億7200万KM、約5億4800万ユーロ)、2位:「Holdina d.o.o. Sarajevo」社(10億2600万 KM、約5億2500万ユーロ)、3位「JP Elektroprivreda BiH d.d.」(9億7700万 KM、約5億ユーロ)

・<収益>1位:「AD Telekomunikacije RS」社(1億650万KM、約5400万ユーロ)、2位「BH Telekom d.d. Sarajevo」社(7854万KM、約4000万ユーロ)、3位「JP Autoceste Federacije Bosne i Hercegovine d.o.o. Mostar」社(4803万KM、約2500万ユーロ)

・<輸出額>1位:「ArcelorMittal Zenica d.o.o.」社(4億8222万KM、約2億4700万ユーロ)、2位「Prevent BH doo Društvo za Dizajn, razvoj, Proizvodnju i Promet u Automotivima Visoko」社(3億9842万KM、約2億ユーロ)、「Alminij d.d. Mostar」社(2億9448万KM、約1億5000万ユーロ)

●「Privredna Banka Zagreb」銀行による「Intesa Sanpaolo Bank Sarajevo」銀行の買収(20日)

「Privredna Banka Zagreb」銀行が「Intesa Sanpaolo Holding International」から「Intesa Sanpaolo Bank Sarajevo」銀行の株式の94.8%を取得。取引額は1億9277万KM(約9850万ユーロ)となった。

● BHドイツ経済代表事務所(AHK)による、
BHへのドイツ人投資家を対象とした調査結
果(27日)

AHKが毎年行っているBHへのドイツ人投資家を対象とした調査の結果、10人中9人の割合で、BHへの再投資への関心を示した。

多くの回答者がBHの経済情勢を「悪い(poor)」と評価する一方で、将来性について悲観する度合いは低く、現状行っている事業に概ね満足していると回答した。投資環境として、BHの労働力に対する高評価が得られたが、汚職や犯罪、複雑な行政、税制度、政治的及び経済的不安定に対する懸念が示された。

● 中国企業3社がバノビチ火力発電所建設・
運用事業に応札(30日)

応札した中国企業3社のうち「Shanghai Electric Group Company Ltd.」社が最も高い金額(4億9500万6ユーロ、税抜き)で入札した。今後、取引先選定委員会が提案の詳細を確認し、最終的な落札企業を決定する。